

新川水土里たより

第19号

新川農林振興センター農業農村整備広報・広聴連絡会 〒937-0863 魚津市新宿10-7 0765(22)9137【指導課】
新川農林振興センターホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1630/index.html

元号が平成から令和に変わり、文字どおり新たな時代の幕開けとなりました。私も4月に着任したこの新職場で管内農林業の持続的発展に全力投球しようと思いを新たにしております。

さて、農業をめぐる情勢は、産地間競争の激化、後継者不足に加え、TPP11や日欧EPAの発効、次に控えるアメリカとの貿易交渉など、多くの課題に直面しております。県としては令和元年度の農業農村整備事業予算において、平成30年度を大きく上回る額(当センター140%)を確保しており、管内の事業展開にしっかりと取り組んでまいりたいと存じます。

特に、管内農業の基幹である米については、高品質で食味が良い米づくりを引き続き取り組んでまいります。新品種「富富」については本格デビューから2年目で面積倍増となり、今

新時代の農業・農村の振興に向けて

所長 津田 敏

後、富山米のトップブランドとして消費者の皆様からの高い評価が定着するよう、万全を期してまいります。

また、水田をフル活用した大豆や大麦、ねぎ等1億円産地づくりの戦略品目をはじめ園芸作物の拡大などを一層推進するほか、輸出も視野に入れた国際GAP認証の取得推進にも積極的に取り組んでまいります。

今後とも、ハード・ソフト両面から元気な富山県農業と魅力ある農村づくりをご支援してまいりますので、皆様方には、各種事業推進へのご理解と農村振興の多彩な取り組みにご協力を賜りますようお願い申し上げます。



当課は、鳥獣被害防止対策、都市農村交流、中山間地域等直接支払制度、耕作放棄地対策、更には、6次産業化や地産地消、林地開発、保安林の許認可など多種多様な業務を担当しています。

今年度の重点的な取り組みは、NPO法人新川地区獣肉生産組合(黒部市・魚津市事務局)が整備した「新川地区獣肉加工施設」(※3ページに関連記事)の運営支援です。また、第5期中山間地域等直接支払制度が令和2年度から円滑に導入できるよう、準備してまいります。

今後とも本庁関係課と連携しながら、広く中山間地域の活性化を図ってまいります。

【課長補佐 神谷 光洋】
管理検査課
当課では、センターで発注した土地改良事業や森林整備事業

各課紹介



遠隔操作形式

- ・ スマートフォンやPCからインターネット経由で水門の開閉ができる。
- ・ 自宅や外出先から遠隔操作が可能となり、ほ場への移動等の手間を省くことができる。
- ・ 水温や水位等のデータが確認でき、予期しない漏水等があれば、異常を報告してくれる。

リモコン操作形式

- ・ 自動給水栓の近くからスマートフォン等のタブレット端末からリモコン操作ができ、ほ場の巡回中に車内から水門の開閉が可能である。
- ・ タイマー設定により指定した時間に給水することも可能。
- ・ 通信費等が不要である。



新川管内において、自動給水栓の導入は当地区が初の試みです。他の地区に自動給水栓を導入する際には、この実証結果が活用されます。

新規採用職員紹介



もと い ま さ や 本井 雅也 技師
指導課 計画班

指導課計画班に配属になりました本井雅也です。大学では農業土木について学んでおらず自然科学系を専攻しておりました。今は班の先輩方の業務のお手伝いをしたり実際の現場に同行させていただいたりと日々勉強に励んでおり、実家が農家ということもあって大変やりがいのある仕事であると感じております。今はまだはじめたてでわからないことばかりですが、何事にもパワフルに取り組みたいです！



も た い み か こ 轟 実佳子 技師
農村整備課 農地整備第一班

農地整備第一班で農地整備事業を担当しています。出身は新潟県上越市です。

富山県の土地勘がないことなど不安もありますが、先輩方のサポートのもと業務に取り組み、まずは多くの知識や仕事の進め方などを身に付けられるよう努めています。



や ま も と こう き 山本 航生 技師
入善土地改良区

桜井高校土木科を卒業し、今年から入善土地改良区に入ります。

フェイスブック やってます!

「とやま水土里探訪ブログ (富山県農村整備課)」
<https://www.facebook.com/toyama.nousonsebi>



【あしがき】
今年度を迎え、計画班には上記の新規採用職員が配属されました。6月からは入善土地改良区よりさらにフレッシュな人材が派遣され、二人から質問を受けるたびに、自身の知識の乏しさと諸先輩方の偉大さを実感します。偉大な先輩方を目標にして、令和元年も努力してまいります。

【計画班】

した。高校では野球部の主将を務めていました。家が農業をやっていないこともあり、農業についての知識が全くありません。6月から3月末まで新川農林さんで三つの班を経験させていただきます。少しでも多くのことを学べるように頑張りたいと思います。

わからないことばかりですが、質問することが多いと思いますが、少しずつ成長していきたいと思っていますのでこれからよろしくお願いたします。



総事業費:220百万円
受益面積:61.3ha
事業内容:用水路工 L=630m
工期:R1~R5
担当:水利防災班

農村地域防災減災事業
前沢用水地区 (黒部市)
山側法面の土砂崩壊等に伴う甚大な溢水及び斜面崩壊被害を未然に防止します。



総事業費:350百万円
受益面積:374.3ha
事業内容:用水路工 L=780m
工期:R1~R5
担当:水利防災班

農村地域防災減災事業
愛本新用水地区 (黒部市・入善町)
水路閉塞に伴う溢水及び法面崩壊による水路直下の民家等への甚大な被害を未然に防止します。



総事業費:50百万円
事業内容:ため池廃止工 1式
工期:R1~R2
担当:水利防災班

農業水路等
長寿命化・防災減災事業
新川地区 (黒部市)
昨年度の西日本豪雨によるため池の決壊被害を受け、ため池の安全性について注目が高まっています。一方で、現在使用・管理されていないため池も数多くあることから、放置ため池の廃止が推進されています。事業制度の拡充により、国の定額助成によるため池の廃止が可能となり、当年度より、写真の2池を廃止します。



黒部市・魚津市で捕獲されたイノシシ肉を「にかわジビエ」として販売中です。



鳥獣被害防止総合対策事業
阿窪の森工房 (黒部市)
本施設は、平成31年2月に、NPO法人新川地区獣肉生産組合が黒部市窪野地内に整備した施設です。
近年黒部市・魚津市において、イノシシによる農作物被害が増加しています。新川地区獣肉生産組合では、そのイノシシを有効活用し、中山間地の地域資源創出の施設となることを目指しています。

自動給水栓の実証実験について
昨年度より、五箇庄北部地区(下新川郡朝日町)にて、自動給水栓による水管理省力化の実証実験が行われています。
今年度の実証では、操作形式の異なる二種類の自動給水栓を使用し、それぞれの効果や課題を検証することとしています。
実験に使用する二種類の自動給水栓の特徴を次に示します。

【価格】100g当たり
0-ス(ブツク) : 500円
0-ス(スライ) : 600円
FE/パ(ブツク) : 300円
FE/パ(スライ) : 400円
(代表的な部位)

【購入先】
NPO法人新川地区獣肉生産組合
黒部市窪野910番地 TEL:0765-54-2081



の検査業務を担当しています。
工事発注の段階では基準に照らして審査し、工事途中の段階では、工事に遅れはないか等を確認します。最後に、出来上がった工事成果物に問題点がないかを確認する完成検査を実施しています。
工事成果物が、農作業の軽減と農業生産の向上に寄与することを願って業務に当たります。
【課長 江尻 昭宏】

指導課
当課では、ソフトとハードの両面から農業農村の振興に繋がる施策を進めています。
計画班では、県営土地改良事業の計画や各種振興計画等の策定に取り組んでいます。特に今年度は「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の施行を機に農業用ため池を巡る課題に対応していきます。
指導班では、団体営事業の支援・指導や土地改良区の機能強化・運営支援等に取り組んでいます。10月には、黒部市において、優れた地域活動を情報発信し、土地改良施設の適切な維持管理を促進する『水土里フォーラム』の開催を予定していますので、沢山の方のご参加をお待ちしています。
【課長 宮崎 雅仁】

農村整備課
当課は、農業の持続的発展を後押しするため、農業生産活動の基盤となる土地改良施設の整備・更新を行っています。
今年度は、補正予算と当初予算を加えた14ヶ月予算として対前年度比約140%の多額の予算が配当されており、①農業用水の管理労力の削減を図る取水施設の遠隔操作やICT化、②農業の競争力強化を図る農地の大区画化や汎用化、③災害に強い安全・安心な県土づくりを推進するための農業用水路やため池の整備、などを積極的に推進してまいります。
課員一同、地域の皆様の声をお聴きしながら事業を実施してまいりますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。
【課長 室 信博】

新規地区紹介
新たに6地区の県営事業がスタートします。引き続き、地元の皆様のご協力をお願いいたします。



農地整備事業
出島地区 (黒部市)
昭和10年代に整備された農地の大区画化や客土を整備することで、生産性の高い優良農地を確保するとともに、当地区での生産性向上と農業競争力の強化を図ります。



総事業費:1,200百万円
受益面積:49.4ha
事業内容:区画整理工 A=49.4ha
客土工 A=21.0ha
工期:R1~R9
担当:農地整備第二班

農地整備事業
入善北部地区 (入善町)
昭和45年から50年にかけて団体営ほ場整備事業で整備された用水路の更新整備及び一部田では区画整理・客土を行い、農地集積・集約化を図るとともに、入善ジャンボスイカ等の収



総事業費:690百万円
受益面積:83.1ha
事業内容:用水路工L=6,693m
区画整理工 A=5.5ha
客土工 A=2.1ha
工期:R1~R7
担当:農地整備第一班



総事業費870百万円
受益面積:149.5ha
事業内容:用水路工 L=13,023m
排水路工 L=2,133m
客土工 A=1.5ha
工期:R1~R7
担当:農地整備第一班

農地整備事業
早月加積北部地区 (滑川市)
昭和47年から平成5年にかけて県営ほ場整備事業「早月加積地区」で整備された用排水路の更新整備及び耕土厚不足が生じている田への客土を行い、農地集積・集約化を図るとともに、大豆やチューリップ球根等の収量・品質向上を図ります。

量・品質向上を図ります。